

デジタル大倒産時代到来か／「学習障害」工夫で克服

AERA

昭和63年6月10日第3種郵便物認可 2012年9月3日発行
毎週月曜日発行（8月27日発売） 通巻1356号

「希望は橋下」30代の渴望

'12.9.3

No.36定価380円

アエラ

女優・歌手 前田敦子



がいんだらうな、と思っ
て。妊娠中に知り合った友人が
幼児向け英語教室を開いている
と知って、もし私が仕事をして
いなければチャンスを与えてあ
げられるのに、と歯がゆいです」
周囲の協力を得て「お教室」
通いを始めたところで、悩みは
つきない。外資系アパレル会社
に勤める女性(41)は、残業も日
常茶飯事。1歳から息子を保育
園に預け、年に4回は1週間近
く海外出張に出る。
それでも、3歳から水泳とピ
アノを開始。土曜午前中の水
泳は自分で連れていくが、平日
のピアノは近くに住む実母に頼
んでいる。息子自身もピアノは
好きで、春に開かれた初めての
発表会も大成功だったが、水泳

は次第に嫌がるようになった。
「唯一私と一緒にすごせる週末
をとられたくないんですね。そ
ろそろ英語をと思っはいるけ
れど、そうすると親子の時間が
また削られてしまう」
結局、二の足を踏んでいる状
態だという。
乳幼児向け宅配教材も
だから、ポピンズのような保
育園型の「お教室」へのニーズ
が生まれるのだ。ALSは、週
2日以上5日まで利用でき、通
常は午前9時半から午後4時ま
でだが、朝は午前7時半から、
夜は午後9時までの延長サービ
スもある。利用者の6割が専業
主婦だが、4割は働く母だ。
会社経営の女性(33)は、週に

オートロックの扉の向こうか
ら、子どもたちの笑い声とピア
ノの優しい音色。「よちよち歩
きの子」を意味する「Todd
ler」と書かれたドアを開け
ると、10人前後の1歳児が身体
を動かしていた。
ここは、保育と教育を組み合
わせた乳幼児のための「アクテ
イブラーニングスクール(ALS
S)」。全国で112の保育施設
を運営するポピンズが2010
年夏に東京・六本木に開設した。
「幼いころから本物との出会い
を」をモットーに、プロの芸術
家やアナウンサーなどを講師に
迎え、アート、音楽、英語など
のクラスを設けている。
生後10カ月からが対象
実際、取材したクラスのグラ
ンドピアノの前に座っていたの
は、あの盲目のピアニスト辻井
玲奈氏。自身も現役のピアニス
トだ。驚くのは、このスクールの
対象が「生後10カ月から」だ
ということだ。0歳のまだよち
よち歩きもできない赤ちゃんが
彫刻家と粘土遊びに夢中になり
2歳児は外国人教師の英語のレ
ッスンを受けている。
ポピンズの中村紀子代表は、
「ここは、25周年を迎えるわが



医師の女性(38)は、半
3歳の娘を生後3年
の間に幼稚園受験
のために預けた。「先生が笑
に厳しすぎて、娘が笑
わなくなりました」
ここに移動しました

読み聞かせや歌遊びなど、親子
結果、母たちは、乳幼児向け
の宅配教材に向かう。これまで
この分野はベネッセコーポレー
ション「こどもちゃれんじ」の
独壇場だったが、6月に日本公
文教育研究会が0〜2歳児に対
象にした新サービス「Baby
Kumon」をスタートさせた。
写真 久保木園子



働く母が陥るジレンマ 母子の時間が 「教育」か

英語やリトミック、バレエにお絵かき。わが子にも
習わせたけれど、「お教室」は平日ばかり。隣の子が
始めているのを見ると、気は焦るのですが……。

ポピンズのアクティブラーニング
スクール。スタッフも利用者もイ
ンターナショナルで、壁一面の大
きな窓からは公園の緑が見え、自
然光が差し込む

2日、1歳半の長女をALSに
預け、残りは自社の社員やシッ
ターの手を借りて仕事と育児を
両立している。
「生後10カ月からここに娘を預
けていますが、泣いてバイバイ
したことが一度もない。本人も
すごく楽しんでます」
冒頭の音楽のクラスで、ひと
きわ上手に踊っていたのがこの
女性の長女。
「ここに通うようになって音楽
に興味があることがわかって。
家でも完璧な振り付けで踊って
くれるんですよ。でも一番よか
ったのは、礼儀正しい子になっ
てくれたこと。挨拶や靴をそろ
えるといった基本的なこととは
んなどきも忘れません」
問題は、当然かもしれないが
費用が高額なこと。週2
日の利用で月10万円程度になる
こともあり、働く母といえども
子どもを通わせられる人は一握
りだ。
結果、母たちは、乳幼児向け
の宅配教材に向かう。これまで
この分野はベネッセコーポレー
ション「こどもちゃれんじ」の
独壇場だったが、6月に日本公
文教育研究会が0〜2歳児に対
象にした新サービス「Baby
Kumon」をスタートさせた。
読み聞かせや歌遊びなど、親子

のふれあいを促すことを目的と
した、絵本やCDを含む家庭用
のキットで、月に1度、教室で
先生からサポートを受ける。
「お母さんたちの子育ての悩み
や不安を受け止め、ご家族での
親子のやりとりをより楽しんで
いただくために始めました」(広
報担当者)
成長する姿が救いに
自分が働いてさえないなければ
という思いは、常に働く母の頭
をよぎる。兵庫県芦屋市在住の
女性(32)は、会社を経営しながら
娘ふたりを保育園ではなく幼
稚園に通わせ、長女を小学校受
験に合格させた。受験をさせる
理由をこう述べている。
「幼稚園がほとんどお受験モー
ドになっていて、本人もやる
気になったので」
3歳から音楽教室、4歳から
は英会話、5歳で体操教室、さ
らに6歳の夏は毎日塾通いをし
た。だが、会社からの急な呼び
出しやミーティングも多く、
「そんなときはどうしても仕事
優先になってしまつて。幼稚園
やお教室の送り迎えも、近くに
住む伯母や友人に頼むことが多
かったです」
受験が近づくとも長女は情緒不
安定に。「ママにお仕事行つて
ほしくない」「お勉強イヤ」と
体操教室の先生に泣きつく長女。
「ショックでした。直接言つて
くれればいいのに」
ママをがっかりさせたくない
と頑張る姿は痛々しかった。だ
が結果的に、長女は女性の母校
でもある私立小学校に入学。楽
しそくに通学している。
乳幼児教育の効果なんて、正
直なところわからない。一緒に
笑つて過ごすことのほうが大切
かもしれない。一方で、わが子
が成長する姿は奮闘する母たち
の救いでもある。だからこそ、
両方とも諦めたくないのだ。

社の理想郷なんです」
と話す。常々、日本で0歳か
らの教育が遅れていることに危
機感を抱いていた。
「欧米では心理学的にも脳科学
的にも、0〜2歳は最も発達
著しく、正しい教育やしつけが
必要だという認識が広まってい
ます。この大事な時期に、1日
10時間も保育園に預け、しつけ
もおざなりにしてしまつていい
のでしょうか」(中村氏)
おっしゃるとおり……なんて
すが、この「ごもっとも」な指
摘が働く母たちを悩ませる。
幼い子どもを保育園に預けて
働いているというだけで心苦し
い。さらに1歳を迎えるころか



ら、専業主婦のママ友たちは子
どもの「お教室」を探し始める。
リトミック、お絵かき、英語
……。
例えば神戸市在住の主婦(33)
の場合、妊娠中から情報収集し
1歳から通える右脳教育塾に長
女を入れた。2歳からは英会話
教室や音楽教室へ。週2回、平
日午後の授業には必ず出席し、
家での勉強にも毎日つきあう。
「おかげで言葉にも早くから興
味を持つてくれました。自分も
幼いころ習い事をさせてもらっ
たし、今度は子どもに、と考え
るのは、自然なことですね」
1歳の息子を持つ特許事務所
勤務の女性(41)の場合。
「息子に、スポーツと英語くら
いはやらせたいと考えてはいる
んです。でも今の状態では時間
がとれない」
親子の時間が削られる
育児が明けてすぐに息子を保
育園に預けて職場復帰。子ども
が小学生になるまでは時短勤務
を続けられる予定だが、毎日の
通勤に片道2時間かかる。
朝は夫に登園を任せ、帰りは
大急ぎで職場を出てお迎え。あ
とは食事にお風呂、寝かしつけ
と息つく暇がない。それでも、
「英語だけはやっぱり早いほう